

1. 件 名：日本原子力研究開発機構原子力科学研究所及び核燃料サイクル工学研究所の原子力事業者防災訓練の事前説明について

2. 日 時：令和5年1月10日 10:00～12:00

3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室

蔦澤防災専門職、澤村防災専門官、本間防災専門職

(以下、テレビ会議システムによる出席)

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

安全・核セキュリティ統括本部 安全管理部 危機管理課 主査 他  
5名

5. 要 旨

日本原子力研究開発機構から、令和5年2月21日に予定されている同機構原子力科学研究所及び核燃料サイクル工学研究所の原子力事業者防災訓練の計画概要について、資料1及び資料2に基づき以下の説明があった。

- ・ 中期計画上の今年度訓練の位置付け
- ・ 今年度訓練の目的・達成目標
- ・ 主な検証項目
- ・ 実施・評価体制
- ・ 訓練の項目・内容（防災業務計画の記載との整合）及び評価基準
- ・ 訓練シナリオ
- ・ 今年度評価指標のうち主に[PLAN(計画)]、[DO(実行)]に関する内容

原子力規制庁から、以下の事項を伝えた。

- ・ 現場の対応能力を向上させることを、訓練の目標の中に入れること。
- ・ 原子力科学研究所内の原子炉施設、使用施設の施設数について、整理すること。
- ・ 外部関係機関への情報連絡、要員派遣が一部模擬となっているが、何が模擬なのか整理すること。

日本原子力研究開発機構から、本日の面談を踏まえ対応する旨回答があった。

今後、訓練実施に向けて、原子力規制庁と日本原子力研究開発機構の訓練コントロール間で調整しながら準備を進めることとした。

6. その他

配布資料

資料 1 : 原子力科学研究所 総合訓練に係る事前面談

(日本原子力研究開発機構原子力科学研究所)

資料 2 : 核燃料サイクル工学研究所 総合訓練に係る事前面談

(日本原子力研究開発機構核燃料サイクル工学研究所)